

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号827

発生場所	病室	精神・意識障害の有無	リスク D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
発生場所（その他） -		無	
関連したもの	針捨てボックス （医療器具）	発生内容の分類 針刺し事故	

発生内容

針捨てボックスの不適切な使用による、針刺しが発生した。

概要

点滴（留置針）を抜去した際に、ルートを持参していた針捨てボックスに捨てようとした際に、すでに捨てられていた針による針刺しをした。点滴ルートは針捨てボックスには入れず、ナイロン袋に入れ、廃棄用のボックスに入れるルールであったが、守られておらず、針捨てボックスの容量も8分目を超えていたため、手指に針刺しをした。

要因

針捨てボックスの適正使用がされていなかった。（8分目を超えていた）

対策

- ・ 針捨てボックスの適正使用。（8分目を超えない）
- ・ 血液付着の点滴ルートなどは、汚物室までの動線を考え、ベッドサイドで一旦ナイロン袋に入れる。

参照